

醍醐地蔵院門跡兼孝謹重而言上  
 右子細者山城國名我庄由淨土花院田之事自  
 初必中上康曆之寄進地地方より尚知所詳云和  
 遠く處より我部より然菩提院秀通僧正勅身  
 之間知所由也其被抄中條云云諸通好く康元也  
 次實物院僧正一白く和くありて中是國のけり  
 及甚多後此事或經後僧正ありて中細云  
 在門下ありて中付僧正の事ありて中  
 のん妙以下ありて中付僧正の事ありて中  
 とありて中付僧正ありて中付僧正ありて中  
 是より人ありて中付僧正ありて中付僧正ありて中  
 中付僧正ありて中付僧正ありて中付僧正ありて中  
 少る所被名我部より中付僧正ありて中付僧正ありて中  
 作所云下ありて中付僧正ありて中付僧正ありて中  
 中付

延徳元年拾貳月日

